

V 区政モニターレポート

区が行っている事業に対し、ご意見をレポートしていただきました。

実施日時	レポート内容	担当部署	回答数
9月9日	「ふくしま祭り&1000日前フェスタ」について 「東京2020オリンピック・パラリンピック」開催まで、いっそう気運を盛り上げていくために、区民の誰もが気軽に参加でき、親しめるよう開催されたイベントについて感想、意見をいただく。	オリンピック・パラリンピック準備課 障害者福祉課	16人

- オープニングセレモニーの障害者の方の太鼓が大変すばらしかった。1964年のオリンピックは今の子どもにはわからないので、教えていくことが大事だと思う。ビーチバレーの体験をしたが、1回くらいやっても・・・という感じであった。バザー・模擬店、中高生のダンス、3競技応援キャラクターも大変良かった。10月半ばまでは町会の祭りなどで忙しいので、できれば10月後半に開催して欲しい。
- 昼前に行ったので、屋台の賑わいはまだまだという状態で、むしろ準備に忙しそうだった。この機会に、名前はしていても具体的にどのような競技なのか知らなかったブラインドサッカーとボッチャを経験する機会に恵まれ有意義であった。
一度でも経験すれば、興味が湧き、人に話したくなるし、応援もしたくなる。百聞は一見に如かずと改めて思った。これからオリンピック・パラリンピックに多くの方が見に行ったり応援したりするためには、小規模でよいので、継続的に経験できる場を作っていくことが肝要と感じた。
今回はじめて義足を付けて走る経験をした。ふくしま祭りのおかげで、なかなか出来ない経験をさせてもらえた。何かすぐには変わらないが、障害のある方の不便さを理解するいい機会であった。不便さを理解することで、自分は何を出来るかということを考えるようになる、それが大切なのではないかと思った。
- 14時過ぎに来場した。暑かったので屋外は結構辛かったが、入口で無料のお茶があったり、ミストがあったりで良かった。スタンプラリーで会場も一周でき、競技

のことがわかるクイズもとても良いと思った。遅くに行ったので、模擬店の商品もだいぶ少なかったのも、また次回ゆっくり見て回りたいと思った。

- 例年の中小企業センターでのふくしまつりとは趣が違ったが、オリンピック・パラリンピックとの共催の試みはいいと思う。福祉施設の手作り販売品は手数を掛けているが、どこの施設や団体も同じような傾向で、自分も思いつかないのだが、何か名案はないものかと思っている。
- 福祉施設の方の素敵な手作り製品を見せていただき、感心した。障害があるとは思えない立派な作品を見て、健常者である自分を奮起させることができた。
- ブラインドサッカーが「セミの声」が原因で品川開催にならなくなったことを知った。障害者の方にはそんな小さなことも大変なことと、今まで自分が何気なく過ごしてきた事を思い知った。会場内をひと通り見学したが、暑さの中で皆それぞれががんばっている姿に思いをよせながら会場を後にした。実行委員の皆さんの1つ1つのご苦労が、大きな輪（和）になり、素晴らしいと思った。
- 老若男女、家族、障害者、共に明るい雰囲気、障害のある方がちょっとした補助を受ければ楽しく過ごせることを実感しながら見守った。会場内で、「オリンピックではマイナーなスポーツでも、ぜひ見に行きたい」という声を聞き、嬉しく思った。難をいえば、トイレ環境が悪かったと思う。どんなイベント会場でもトイレ環境は大切だと思う。
- 自転車置き場が整然としていて、余裕があるスペースに感動した。いつもイベント会場では自転車を置くスペースを探すのに一苦労なので、心から安堵した。
会場の割り振りで、バザー関係は木陰ありで良かった。3競技の体験会場も工夫されており、子どもたちも楽しんでた。この競技体験は子どもたちによい経験になると思う。グラウンドで行われたステージに出演した近隣中高校の若きエネルギーと真摯な態度に心から拍手を送りたい。生涯の宝になると思う。彼らのためにも、このようなイベントは毎年開催され、区民側にも盛り上がる一助となればよいと思った。
- 会場には多くの障害のある方が参加されていたが、普段そのような方とふれあう機会がないので、何かの形で話をしたりできたらいいと思った。例えば簡単なゲー

ムでふれあう機会があったらいいと思った。NPO 法人の方と話ができ、立て直し計画がある町会会館に入居できるかなどのヒアリングをすることが出来た。協力できそうな、いい感触を得ることが出来た。ビーチバレーやホッケーの体験を見たが、親切に教えていて、子どもたちが喜んでいて、とてもよい催しだと思った。

全体として、区役所の職員が一生懸命盛り上げている様子がとても良かった。

- 参加してみて、イベントの趣旨が良く理解できなかった。よくあることだが、主催者側が盛り上がり、参加者は何をやっているのかわからないところがある。

特にふくしまつりは、支援団体同士の祭りに感じた。「障害のある人となない人がともに楽しみ、ふれあうことを目的として」とあるが、楽しんでいるという感じはしなかった。

- 障害のある方が、それほど目立たなかったように思った。そうでない人とほどほどに参加していたのかもしれないが、ともに楽しんでいたと感じた。

障害のある方の出品やステージも楽しめた。ご本人の努力や関係者の方の支援等には敬意を表したい。1000 日前フェスタでの体験等は良かった。特にホッケーのエキシビジョンマッチは近くで見られ、解説、実況等もあり、分りやすかったと思う。山梨学院大の選手、企画自体に感謝したい。体験したことで競技の大変さもわかった。気づいた点として、「救護所」は大きな目印の旗などがあつたほうが良いと思った。「見える」化が必要。また、座れる休憩所と日陰はグラウンド側は少なかつたと思う。パンフレットは大きめでわかりやすく、うちわは日除けにもなり大変良かったと思う。

- このイベントのチラシを見た時にすべてひらがな表記のせいかわか「ふくしまつり」を福島関連のイベントかと勘違いしてしまった。公園のスペースを上手に使った配置でとても見やすい構成になっていた。福祉とオリンピックという 2 つの要素がうまく融合されていた。

- ふくしまつりが今回で 24 回開催されていることを初めて知った。参加してみて、楽しい企画が多く、家族での参加に向いていると感じた。多くの区民が参加していることに驚いた。ただ、「ふくしまつり」の名称に若干違和感を感じた。「ふくしま」と目に留まってしまい、「福祉」に結びつかない。ふくしまつりとオリンピック・パラリンピックの合同イベントは参加者層が広がり、大変良いアイデアだと思った。

- ふくしまつりは模擬店、ステージなど楽しめました。1000 日前フェスタに

ついて、ブラインドサッカー、ボッチャ体験など体験してみても納得することがあった。薬剤師さんのブースでは、経口保水液の試飲があったが、勉強になることがあり良かった。

- 当日はどの催しも参加している人皆が楽しんでいるように感じられた。このせっかくの催しを私の周りの人が知らなかったことを残念に思った。もっと幅広い層の方々に知ってもらう必要があると感じた。

- 会場の割り振りがあまりよくなかったように思う。スポーツ控室がたくさんあるのに対し、売り場は狭かった。人も少ないように感じた。全体的に盛り上がりがなかったようだ。中小企業センターを使えなかったのが仕方がなかったか。